

# プレスリリース

2022年7月

7日

ウクライナへのロシア侵攻は4ヶ月を超えました。ウクライナ東部を中心に激しい「消耗戦」が続き、犠牲者が増え続けています。私たちは5月に「即時停戦」を呼びかける声明を出しましたが、未だ両国の停戦協議は再開されていません。

<https://peace-between.jimdosite.com/>

この声明を出した日本と韓国の市民・研究者は、共同で、国連事務総長に対し、停戦の仲介を依頼する書簡を提出しました。日本52名（+2団体）、韓国51名、世界3名です。日本の国連広報センターに提出し、国連本部に転送される予定です。

ドイツでも20名の連名で「停戦と交渉」を求める声明が出され、またG20の議長国であるインドネシアの大統領がウクライナとロシアを訪問して停戦を働きかけています。

まずは戦闘を止めること、そして交渉によって問題を解決していくことが大事だと私たちは考え、このことをさらに世界に向けて発信していくつもりです。

取材、報道をよろしくお願いいたします。

和田春樹 [fwjg0575@nifty.com](mailto:fwjg0575@nifty.com)

伊勢崎賢治 [kenji-isezaki@mue.biglobe.ne.jp](mailto:kenji-isezaki@mue.biglobe.ne.jp)

羽場久美子 [khaba@aoyamagakuin.jp](mailto:khaba@aoyamagakuin.jp)

岡本厚 [okamoto1954@yahoo.ne.jp](mailto:okamoto1954@yahoo.ne.jp)